

ザ・パークハウス 横浜新子安フロント

The Parkhouse Yokohama Shinkoyasu Front

No. 06-025-2020作成

新築

集合住宅/その他

発注者	三菱地所レジデンス株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社熊谷組一級建築士事務所		E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
施工	株式会社熊谷組 首都圏支店		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他	

緑豊かで木のぬくもりを感じることのできる自然派ナチュラルマンション



完成予想CG

外観



1F エントランスアプローチ



3F エントランス



エントランスホール(1)



ゲストルーム



エントランスホール(2)



集会室

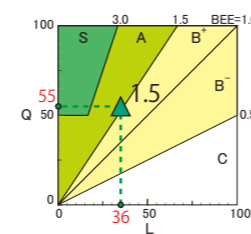
地域まちづくりとの調和

本計画は、JR京浜東北線【新子安駅】より徒歩3分、京浜急行電鉄【京急新子安駅】より徒歩4分の場所に位置し、平成30年4月に移転した子安小学校の跡地に、地元地域の要望や課題について地域の方々と協議・検討を行い、計画しています。

上記を実現するために、横浜市市街地環境設計制度を利用し、建物高さの緩和(建物を高層化することにより歩行者空間や地域拠点となる広場の確保)と既設歩道橋と本物件をつなぎ、エレベーターを新設することによりバリアフリー化を実現し、マンション開発における地域の要望に貢献しています。

また、マンション敷地内には150㎡超の園庭を有する保育所を新設し、住民や地域の子育て世代をサポートします。

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	品確法省エネ対策	Aランク
竣工年	等級 4	BEE=1.5
敷地面積		2016年度版
延床面積		第三者認証
構造		
階数		



全体配置図 (2020年10月時点計画)

環境と共生する地域づくり

環境と共生する地域づくりを目指すため、東・南・西側へ連続する公開空地を形成し、幅1.5m以上確保した歩行者のためのプロムナードを整備します。一年を通して四季折々の表情を魅せる植栽帯は安らぎの風景を創造します。

西側は、住宅街に対し計画建物を道路境界線からセットバックさせることで圧迫感を緩和するよう配慮し、バッファゾーンとしての緩衝緑地帯を設置します。

駅や幹線道路に近接する立地のポテンシャルを活かし、計画建物の3階部分と既設歩道橋を接続するデッキを新設し、南側の公開空地へと降りる階段及びバリアフリーに配慮したエレベーターを設置することで、回遊性の高い歩行空間や沿道緑地空間を実現し、地域住民の更なる生活利便性の向上を図ります。



西側プロムナード



エントランス前公開空地



南側プロムナード



節水型便器・節水型水栓の採用



高効率給湯器の採用



各種 横浜市の制度取得

設計担当者

統括：平野謙/建築：浜田晶子、仲野叶子、泉亜門/構造：梅田正芳、霜田麻由美、沢柳佑奈/設備：田中裕、児玉真見/電気：徳橋浩、白田裕子

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2 .2. 耐用性・信頼性 (節水型器具の使用・非常用水源の確保及び防災倉庫内に浄水装置の設置)
- Q3 .2. まちなみ・景観への配慮 (奇抜な色彩を避けた外観計画・周囲への圧迫感を抑制・横浜市市街地環境設計制度採用)
- Q3 .3. 地域性・アメニティへの配慮 (自由利用空地の設置と歩道状空地の設置・地域交流施設を設置)
- LR1.3. 設備システムの高効率化 (潜熱回収型給湯器 [エコジョーズ] の採用・一部共用部にLED照明を採用)
- LR2.2. 非再生性資源の使用量削減 (メンテナンスのし易さを考慮し、仕上材と躯体を容易に分別できる計画)
- LR2.3. 汚染物質含有材料の使用回避 (断熱材はノンフロンを採用)